

地方自治ここにあり 首長インタビュー

先人の思いをつなぎて、全国唯一を活かした、笑顔の絶えない村に

北山村 泉 清久 村長



泉清久村長

大前：泉村長は県職員から北山村教育長をされて、昨年7月から行政運営をされているのですが、行政を進める中で大事にされていることは。

村長：うちの村は385名の小さな村ですので、田舎の良きコミュニティ、住民同士のつながりを大事にしていきました。僕は村外出身なので、いろんな祭やイベント事にはできる限り顔を出し、そこでコミュニケーションを取るようにしています。

役場職員も24名なので、一人一人が力を発揮してもらわないと大変です。職員とのコミュニケーションも大事にしています。とにかく、村民に

柳田：地域交通は、三重の方からのバスだけで、新宮行き

部では、幹線道路から枝分かれした所に集落があることがあります。集落はすべて国道169号線沿いにあります。山間

大前：泉村長は県職員から北山村教育長をされて、昨年7月から行政運営をされているのですが、行政を進める中で大事にされていることは。

村長：うちの村は385名の小さな村ですので、田舎の良きコミュニティ、住民同士のつながりを大事にしていきました。僕は村外出身なので、いろいろな祭やイベント事にはできる限り顔を出し、そこでコミュニケーションを取るようにしています。

役場職員も24名なので、一人一人が力を発揮してもらわないと大変です。職員とのコミュニケーションも大事にしています。とにかく、村民に

柳田：集落は、幾つもあるのですか。

村長：もともとは5集落でしたが、観光筏が着く一番下流の集落は、人が住まなくなつて、4集落になっています。

柳田：集落は、幾つもあるのですか。

村長：もともとは5集落でしたが、観光筏が着く一番下流の集落は、人が住まなくなつて、4集落になっています。

柳田：地域交通は、三重の方からのバスだけで、新宮行き

大前：泉村長は県職員から北山村教育長をされて、昨年7月から行政運営をされているのですが、行政を進める中で大事にされていることは。

村長：うちの村は385名の小さな村ですので、田舎の良きコミュニティ、住民同士のつながりを大事にしていきました。僕は村外出身なので、いろいろな祭やイベント事にはできる限り顔を出し、そこでコミュニケーションを取るようにしています。

役場職員も24名なので、一人一人が力を発揮してもらわないと大変です。職員とのコミュニケーションも大事にしています。とにかく、村民に

柳田：集落は、幾つもあるのですか。

村長：もともとは5集落でしたが、観光筏が着く一番下流の集落は、人が住まなくなつて、4集落になっています。

柳田：集落は、幾つもあるのですか。

村長：もともとは5集落でしたが、観光筏が着く一番下流の集落は、人が住まなくなつて、4集落になっています。

柳田：地域交通は、三重の方からのバスだけで、新宮行き

大前：泉村長は県職員から北山村教育長をされて、昨年7月から行政運営をされているのですが、行政を進める中で大事にされていることは。

村長：うちの村は385名の小さな村ですので、田舎の良きコミュニティ、住民同士のつながりを大事にしていきました。僕は村外出身なので、いろいろな祭やイベント事にはできる限り顔を出し、そこでコミュニケーションを取るようにしています。

役場職員も24名なので、一人一人が力を発揮してもらわないと大変です。職員とのコミュニケーションも大事にしています。とにかく、村民に

は笑顔で挨拶、職員に対しては、冗談も含めた声かけです。人は言葉遣いで動いたり動かなかつたりするので、言葉遣いには気をつけてという感じでやっています。

柳田：村営バスはどこへどれくらいの頻度で走るのですか。

村長：朝夕、熊野市まで往復で、それは、熊野市駅のJRの特急に合わせています。村内では、温泉から一番上の集落まで日に2往復走っています。国道沿いに集落があるので、バスも国道を走ればすぐで対応できます。熊野川からの奥瀬道路の3期工事が終われば道が良くなります。新宮・本宮方面からの観光客も呼び込みたいので、公共交通をみんなで考えよう検討しています。

柳田：地域交通は、三重の方からのバスだけで、新宮行き

大前：泉村長は県職員から北山村教育長をされて、昨年7月から行政運営をされているのですが、行政を進める中で大事にされていることは。

村長：うちの村は385名の小さな村ですので、田舎の良きコミュニティ、住民同士のつながりを大事にしていきました。僕は村外出身なので、いろいろな祭やイベント事にはできる限り顔を出し、そこでコミュニケーションを取るようにしています。

役場職員も24名なので、一人一人が力を発揮してもらわないと大変です。職員とのコミュニケーションも大事にしています。とにかく、村民に

わかやま住民と自治

発行／和歌山県地域・自治体問題研究所
和歌山市太田2丁目14-9 太田ビル203号
TEL・FAX 073-488-3127
jichiken@crux.ocn.ne.jp 2025年9月号

2025年8月25日発行 第371号 (月400円)

目次

地方自治ここにあり 首長インタビュー	
先人の思いをつなぎて、	
全国唯一を活かした、笑顔の絶えない村に	
北山村 泉 清久村長 …… 1	
和歌山大空襲の惨劇を伝え、悲惨な歴史を繰り返さないために	
元和歌山市立博物館副館長 高橋 克伸さん …… 6	
2025年度総会報告 …… 8	



観光筏下り（北山村観光サイト HP より）

つたです。運行は天候にも左右されますが、昨年は天候に恵まれました。とにかく、もつと知つてもらおうと、都部でのイベントに参加してPRしています。今年も9回出かける計画です。今日も担当者が行っています。

柳田：どこへ行くのですか。名古屋が多いですね。たまに

東京にも行くのですが、遠くからだと筏下りだけで来てただくのは難しい。例えば、新宮のどこかへ来て、筏も一

緒に乗るような、コラボした

ツアーがいると思っています。

乗客は、今までは50代前後の方が多かったのが、昨年20代が2割と一番多くなり、インバウンドも多くなってきています。都市部でのPR効果もあるし、若い人はインスタとかのSNSでどんどん発信してくれます。筏下りのインスタのフォロワー数も、昨年は1500程だったのが、今は5000を超えてきています。SNSの発信は、効果があると思っています。

今年、筏師さんの待遇改善や経費高騰のため乗船料を1000円アップ（7700円）しました。それで乗船客が減るので心配したのですが、全然影響がなくて、昨年以上に予約も入りありがたいです。

600年余り続く筏下りの中で、昨年8月に初めて女性筏師が誕生しました。それがNHKや民放で取り上げられたり、いろんなところから取材申込みがあつて、ちょっと話題になっています。

村出資の会社で、じゃばら振興と村内での雇用をつくる

大前：どうです村の出資で、パートまで入れると70人程になるかな。

村長：そうですね村の出資で、正職員と契約社員で50数人、パートまで入れると70人程になるのか。

村内のじゃばら加工場の方で20数人。ふるさと納税の受託の関係で、新宮や田辺、広川等のオフィスに職員がいます。県内12市町村の委託を受けてふるさと納税のお手伝いをしています。

大前：経営のノウハウを会社がお持ちなのですか。

村長：そうです。令和2年に

会社を立ち上げて6年になります。社長は、元々役場の職員で、じゃばら振興の担当もしていました。村でじゃばら事業を始めた当初は、毎年何千万円もの赤字でした。今なったときに、彼が通販の楽

天に出店したのです。ちょうど通販のサイトがはやりだした頃で、それが転機になりました。カゴメさんの「野菜生活100」シリーズに、じゃばらのジュースを作つてもらい、期間限定で全国展開してもらいました。もう一つは、UHA味覚糖の「邪払の餡」にうちのじゃばらを使つてもらっています。テレビ

また、顧客の中で、毎年たくさん買ってくれる人がいて、その理由を聞くと、「花粉症に効果がある」と「そんなことある？」という事で、100人程のモニター調査で、半分ぐらいの人が、効果があったという回答がありました。

それで人気になつたという感じです。

大前：じゃばらは村営農園があるのですか。

村長：村全体でじゃばらの収穫量は大体110トン。村の農園というか、北山村が出資している、北山振興（株）が生産しているのが6割ぐらい。

それ以外に、個々の農家の方が、組合員30数名で4割ぐら

いを作つています。村のじゃばらは、全量（株）じゃばらが組合員30数名で4割ぐら

いを作つています。村のじゃばらは、全量（株）じゃばらが組合員30数名で4割ぐら

いを作つています。村のじゃ

ばらの収穫は柚子などと同じ11月で、昨年の買取り価格はキロ340円。キロ単価はいいと思います。その単価も毎年、農家の生産者組合と（株）じゃばらいす北山で、単価の協議がされます。

じゃばら製品の売上げは、昨年で4億5000万円ぐら

い。これが過去2番目になります。じゃばらもマスコミど

の露出が多かつたので、一

年よりも4、5千万円上

ります。じゃばらもマスコミど

の露出が多かつたので、一

年よりも4、5千万円上

ります。じゃばらもマスコミど

の露出が多かつたので、一

年よりも4、5千万円上

ります。じゃばらもマスコミど

の露出が多かつたので、一

年よりも4、5千万円上

ります。じゃばらもマスコミど

の露出が多かつたので、一

年よりも4、5千万円上



村のじゃばら畠

じやばらの研究を進めていま
す。それに、花粉症やアレル
ギーに効くという機能性表示
食品の届出をしていこうと考
えています。購入された方が、
花粉症に効くとか言つてくれ
るのはいいのですが、こちら
からも効果を売りにできるよ
うに機能性表示が出来るよう
に、ちゃんと治験もやつてい
こうとしているところなのです。

大前：国は地方創生で地域商社とかを推進していますが、(株)じやばらいず北山はその先駆けのような気がしますが、
村長：うちの場合、(株)じやばらいず北山と北山振興(株)と2つの会社があって、外貨を稼いでくる(株)じやばらいず北山と、観光筏や、村内のプロパン、ごみ、水道の管理、料金徴収というようなことも

大前：以前の首長インタビュー
一の時に、幼児の英語教育や
外国へ留学に行くという話を
されていましたが、教育や子
育てにも力を入れていると思
うのですが。

かで字を書く事が減つてゐる
ので、小学生を対象に毎週水曜日に書道教室を、また、同じく小学生を対象に体操教室を隔週に行っています。

大前：それで、子どもさん達は、村に戻つてこられますか
村長：戻つてくる人と、やっぱり向こうに居着いてしまう人と、まあ、いろいろです。
小さな村でのこぢんまりとした人間関係だけでなく、小学校、中学校の時に、いろんな体験をさせたいということです。それがための海外でもあります。太地町とも交流します。

「子どもは村の宝物
子どもに豊かな
体験をさせたい

柳田：北山振興（株） に従事されているのは何人ぐらい。

山振興(株)。夏場は筏に乗っているので、
すが、筏シーズンが終わると、じやがら
の収穫とか、森林組合からの依頼で山に
間伐にも行きます。

に応じてやつていて、
らい続けています。その集大
成として中学校2、3年生が
隔年にアメリカへ短期留学に
行きます。ちょうど今年の夏
休み、アメリカ、サンディエイ
ゴとロサンゼルスへ18日間5
6人が行くのですけど、みん
なバラバラにホームステイし
て、午前中は語学学校で勉強
昼からはいろんな活動をして
土日はホストファミリーの方

村の宝物」という合い言葉の中では、やつていて、2代前の奥田村長のときから、これからは海外にも目を向け、英語の習得が必要だと、英語教育と異文化の学習に力を入れてきました。保育所の3歳児から、中学校卒業まで、学校の授業とは別に、毎週、英会話教室という塾を放課後、学年

高校は、新宮の高校か三重県熊野市と御浜町にある熊野青藍高校とかに行きます。三重県側には、バスで通えますが、新宮ではどうしても寮に入ることとなります。寮費も月3、4万円かかり、その内2万円を補助します。それとは別に、育英奨学金ということで、高校生には、月3万円大学生には月5万円を貸出して、それは返してもらうのですが、返済は20年間で無利子ですが、返済は20年間で無利子です。そういうこともやっています。

村長：そうです。うちは小さ
いからこそできることです。
他にも出産祝い金、入園、入
学祝い金。ベビーカーやチャヤ
イルドシートの貸出し、乳幼
児への絵本配布。それに一番
大変な、高校への通学助成を
月2万円補助しています。

そんなことで、外に出て、いろんな体験とか、いろんな人の接触、そういうことを盛んにやっています。

教育とか保育もそうですが、どんどんやり方が進化していることから、それについて行ければと、昨年2月に和歌山大学と協定を結んで、学生さんがこっちへ来ていろんな活動をやってくれています。今年も夏には学童保育に教育学部の学生さんが来てくれたり、篭下りの受付や、じゃばら収

ーに一緒に行きます。中学生活の修学旅行も今まで東京でデイズニーランドでしたが、思い出づくりの修学旅行よりはこの時代なので、平和教育に力を入れたらという事で、前回から沖縄へ修学旅行するようしました。



2年前に新設されたじゃばら加工施設

穂に来てくれたりとか。6月13日には、和歌山信愛大学とも協定を結んで、保育園の「誰でも保育」の取り組みや、京都工芸繊維大学や日本大学からも来てくれるということを受けながら、やつていただきたいと思っています。

柳田：そういう外からの刺激もで、そういう外からの刺激もからも来てくれるということを受けながら、やつていただきたいと思っています。

とにかく「子どもは村の宝物」ということで、その子たちがここで経験を、都会に居ても、北山村を応援するよ

うな気持ちを持ち続けられるようになればと思っています。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

ほかのところがやっているように、家を用意して、誰でもどうぞと言えば、来てくれるかも知れませんが、それはあまり良くなかったと思つて

います。移住したいという人にターンがあつて、自分勝手に田舎で悠々自適したいから、集落に入つたときに、集落の共同作業、草刈り、道普請、そういう活動に何にも関わらないといふことになると、コミュニティが壊れる

大前：地域おこし協力隊の取り組みを聞いて、移住して来るといふようなケースは。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

ます。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

ます。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

ます。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

ます。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

ます。

移住や地域おこし協力隊の取り組み

大前：地域おこし協力隊の取り組み

たいと思っています。

しかし、以前から移住には力を入れて来て、村には公営住宅が4カ所に40軒程あって、移住者には、定住補助金として、家賃補助も出しています。

ITは強いようです。

また、役場職員も昨年5人採用しました。皆村外から来て村に住んでくれています。

防災・耐震対策の取り組み

大前：地域おこし協力隊の取り組み

からず心配しています。地域には古い家がいっぱいです。県の補助などで耐震診断は無料でやれます。その後の改修には、補助金では足りず高額な費用負担になる。特に年寄りは、家にお金はかけれないと言つて進まない。能登半島地震でも、家が潰れての圧死、そのあと火事での焼死が見られたので、とにかく圧死を避けたいと思いました。そこで、部屋に置く耐震シェルターや耐震ベッドの導入を図っています。40万円を基準として、3分の2まで国・県の補助で、3分の1を村で負担して、村民の持ち出ししないで40万円までの耐震シェルターや耐震ベッドを住民の皆さんに普及させようと、今年から

大前：能登地震でも、孤立集落になつたということもありましたが、災害の関係での対策は。

大前：災害で道が寸断されたり孤立するだろうと。平成23年の紀伊半島大水害のときも、結構、道が通れなくなりました。それで2、3年前に村内全戸に、3日分の非常食を配っています。先ほどの話のように、奥滝道路の3期工事が進んでいますが、改修終了に合わせて道の駅周辺を再整備したいと考えています。再整備には防災機能を兼ね備えた。例えば自衛隊が災害復旧に来たらここをベースにしたり、何箇所かバンガローを作つて、応急仮設になるようなことを考えてています。

大前：そうですか。

大前：消防団ともいろいろやつています。うちには消防署がなく、緊急のときの救急消防は新宮市に委託をしていて、熊野川から来てくれます。それも大地震で道が寸断されるかどうか分からぬので、消防団だよりになります。昨年から、地区ごとに、避難訓練や防災訓練を、少しづつ進めています。また、女性消防

大前：地域おこし協力隊の取り組みを聞いて、移住して来るといふようなケースは。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもうちょっとしなければとも思います。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

ます。

柳田：あると思いますが、この数年は移住された方は少ない感じです。移住発信をもう

